



ALPA Japan Technical Information

日乗連技術情報

Date 2021.10.15

No. 45-T02

発行 : Air Line Pilots' Association of Japan
日本乗員組合連絡会議
AGE 委員会
〒144-0043
東京都大田区羽田 5-11-4
alpaiapan.org

シドニー国際空港 RWY16R 工事に伴う運航制限



SAFETY BULLETIN

21SAB15
8 October 2021

Sydney Airport 16R Threshold Reconstruction

(原文は、上記 IFALPA ロゴをクリックしてください)

シドニー国際空港 RWY16R/34L の北端部分は、1968 年に設置されてから 50 年以上が経過しており、耐用年数の 40 年を超えた状態で運用されています。さらに航空機の重量が増加してきていることや交通量の増加に伴い、常に修繕が必要な状態となっていました。そのため、小さな修繕が夜間帯に実施されてきましたが、実質的な改善とはなっておらず、根本的な対策が求められる状況になっています。

そこで、コロナ禍によって交通量が減少しているこのタイミングで、RWY16R を短縮運用することで 9,200 平方メートルに及ぶコンクリートの打ち替え作業を実施することになりました。

これに伴う運用上の主な制限は、以下の通りです。

- **RWY16R の着陸禁止 (RWY16L が着陸に適さない場合、RWY07/25 が利用可能)**
- **RWY16R からの離陸は TWY G から実施**
 - < 有効離陸滑走路長は 4,052m → 2,849m >
 - “[Callsign] at F, Enter RWY16R, Taxi Forward and Hold Abeam G”
 - “[Callsign] Line up and Wait RWY16R, Hold Short RWY25 Traffic Landing/Departing on the Crossing Runway”
 - (TWY G の横に来るまで、離陸推力を出すことは不可)
- **RWY34L の着陸は、短縮運用で実施可能**
 - < 有効離陸滑走路長は 3,000m、着陸滑走路長は約 3,500m >

詳細は IFALPA Safety Bulletin 原文をご確認ください (上部の IFALPA ロゴをクリックすると、原文が参照出来ます)。工事終了は 2021 年 11 月末の予定です。

以上